

令和6年度計画変更

当初計画年度	平成29年度
変更計画年度	令和6年度
都道府県	静岡県
所在地	静岡県御殿場市・駿東郡小山町

土地改良事業計画書

農地整備事業（経営体育成型）

高根西部・一色地区

事業主体

静岡県

目

第1章	目 的	1
第2章	地 域 及 び 地 積	1
第1節	地 域	1
第2節	地 積	1
第3章	現 況	2
第1節	気 象 及 び 海 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
3.	海 象	3
第2節	土 地 状 況	3
1.	地形、土壌及び侵食の程度	3
2.	土 地 分 類	4
3.	土地利用の状況	4
4.	土地所有の状況	5
第3節	水 利 状 況	5
1.	用 水 状 況	5
2.	排 水 状 況	7
3.	河 川 状 況	9
第4節	道 路 の 状 況	9
1.	道 路 概 況	9
2.	主要道路一覧表	9
第5節	地 域 農 業 の 概 況	10
1.	産 業 別 職 業 人 口	10
2.	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 及 び 耕 地 の 分散状況並びに兼業別農家数	10
3.	動 力 農 機 具 及 び 主 要 家 畜 頭 数	10

次

4.	主 要 作 物 状 況	11
5.	農 業 の 動 向	11
第4章	一 般 計 画	12
第1節	事 業 計 画 の 要 旨	12
1.	要 旨	12
2.	事 業 別 面 積	12
第2節	営 農 計 画 及 び 土 地 利 用 計 画	12
1.	営 農 計 画 の 概 要	12
2.	土 地 利 用 区 分	12
3.	作 付 体 系	13-1
4.	生 産 計 画	13-2
5.	労 働 改 善 計 画	14
6.	級 地 別 土 地 利 用 区 分	14
7.	土 地 配 分 計 画	15
第3節	用 水 計 画	15
1.	計 画 基 準 雨 量	15
2.	計 画 かん がい 方 式	15
3.	計 画 用 水 系 統	15
4.	計 画 用 水 量	15
5.	水 源 計 画	16
第4節	排 水 計 画	19
1.	計 画 基 準 年	19
2.	計 画 排 水 方 式	19
3.	計 画 排 水 系 統	19
4.	排 水 量	19
5.	排 水 対 策	19

6. たん水検討	20	4. 用水路	25
第5節 道路計画	20	5. その他かんがい施設	25
1. 道路及び索道	20	第2節 排水施設	25
2. 路線配置図	20	1. 排水水門	25
第6節 農用地造成計画	21	2. 排水機	26
1. 農用地造成計画	21	3. 排水路	26
2. 土壌改良	21	4. その他	26
第7節 洪水調節計画	21	第3節 道路及び索道	26
1. 計画基準雨量	21	1. 道路	26
2. 計画洪水量及び調節量	21	2. 索道	27
3. 貯水池	21	第4節 農用地造成	27
4. 洪水調節検討	22	1. 農用地造成工	27
5. 管理計画	22	2. 土壌改良	27
第8節 干拓計画	22	第5節 洪水調節施設	28
第9節 農用地整備計画	22	1. 貯水池	28
1. 区画整理	22	2. 頭首工及び導水路	28
2. 暗渠排水	23	第6節 干拓施設	28
3. 客土	23	1. 堤防	28
4. 農地保全	23	2. 潮止め	28
第10節 老朽ため池改修計画	24	3. 附属施設	29
1. 洪水吐改修計画	24	4. 埋立	29
2. 堤体補強計画	24	第7節 農用地整備施設	29
3. 取水施設改修計画	24	1. 区画整理	29
第5章 主要工事計画	24	2. 暗渠排水	29
第1節 用水施設	24	3. 客土	29
1. 頭首工	24	4. 農地保全	30
2. 貯水池	24	第8節 老朽ため池改修施設	30
3. 揚水機	25	1. 貯水池	30
		2. 堤体補強施設	31

第6章	付帯工事計画	31
第7章	工事の着手及び完了予定時期	31
第8章	環境との調和への配慮について	32
第9章	換地計画の概要	33
	第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方 33
	第2節	換地区の設定 33
		1. 換地区の名称、所在、面積 33
		2. 換地区を設定する理由 33
	第3節	換地計画樹立の基本方針 33
		1. 従前の土地の地積の基準 33
		2. 用途別予定地積 34
		3. 農用地集団化の方針 34
		4. 非農用地換地の方針 34
	第4節	土地の評価及び清算の方法 35
		1. 評価の方法 35
		2. 清算の方法 35
	第5節	換地計画樹立の年度計画 35
	第6節	換地処分の特則 35
第10章	事業費の総額及び内訳	36
第11章	効用	37
第12章	関連する事業	37
第13章	現況・計画図面	37
		1. 計画一般図 37
		2. 計画平面図 37
		3. 土地利用計画図 37

第 1 章 目 的

御殿場市、小山町にまたがる北駿地域では、昭和60年代よりこれまで大規模な区画整理を進めてきたが、新東名高速道路の西側に位置する本地区の柴怒田、上小林、一色の周辺には未整備の農地が残されたままである。

ほ場は小区画で、道路は狭小で湾曲しているため、中型機械の乗り入れが困難であり、用排水路は老朽化が進み、漏水による水不足、湿田が生じ、営農規模の拡大や利用集積に支障をきたしている。

また、湧水は多いが、小用水路が未整備のため安定した水利用と効率的な水管理のために一体的な整備が必要な状況である。

よって、農地整備事業(経営体育成型)により集团的優良農地の確保と利用促進を図るものである。

第 2 章 地 域 及 び 地 積

第 1 節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農地整備事業	静岡県御殿場市・駿東郡小山町

第 2 節 地 積

(第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	樹園地 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名								
農地整備事業	御殿場市	37.0	2.8		1.7	1.9	4.5	47.9	
	小山町	5.5	0.6		0.3	0.4	0.9	7.7	
	計	42.5	3.4		2.0	2.3	5.4	55.6	

第 3 章 現 況

第 1 節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名 観測期間	御殿場 S27~H14	かんがい期 4月～9月	非かんがい期 10月～3月	計 又は平均	備 考
平均	気温	18.1℃	7.2℃	12.6℃	
降水量	平均(mm)	1,390.5 mm	1,144.5 mm	2,535.0 mm	
	基準年(日)	mm	mm	mm	
降水日数	平均(日)	89日	64日	153日	
	基準年(日)	日	日	日	
根雪期間	月 日 ～ 月 日				
無霧期間	3月20日～12月4日 日間				
最多風向	S	平均風速	2.8 m/S		

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 御殿場	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
	数 量	年月日	発生 確立	数 量	年月日	発生 確立	数 量	年月日	発生 確立	数 量	年月日	発生 確立	数 量	年月日	発生 確立	
観測期間 S 27 ～ H 14																
最大日雨量(mm)	341.0	H13.9.10	1/53	311.5	S57.8.1	1/26	274.0	S28.9.13	1/11	273.0	H3.9.19	1/11	258.8	S36.6.28	1/8	
最大時間雨量(mm)	81.0	H11.11.1	1/32	79.0	S27.8.9	1/27	77.0	S54.10.19	1/23	75.8	S31.6.23	1/21	75.0	H12.11.2	1/20	
最大4時間雨量(mm)	193.0	S54.10.19	1/40	192.7	S33.9.17	1/40	179.0	H12.11.1 ～ 2	1/26	170.0	H11.11.1	1/19	169.0	S57.8.1	1/19	
最大連続雨量(mm)	695.8	S36.6.23 ～ 7.2	1/40	686.0	S58.8.14 ～ 20	1/38	660.0	S49.8.25 ～ 9.5	1/29	593.5	S57.7.29 ～ 8.3	1/19	529.0	H3.9.13 ～ 21	1/10	
最大連続干天日数(日)	68.0	S48.11.14 ～ S49.1.20	1/266	42.0	H11.11.25 ～ H12.1.5	1/23	39.0	S9.10.5 ～ 11.13	1/17	38.0	H10.12.8 ～ H11.1.14	1/16	34.0	S45.12.27 ～ S46.1.29	1/10	

3. 海 象 ※該当なし

(第3表-3)

観測所名	観測期間	年～年	既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備考
実測地										

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜区分	田						畑・樹園地						受益地標高		備考		
		1/1000 以下	1/1000 1/100	1/100 1/20	1/20 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° 8°	8°～15°			15° 20°	20° 以上	計		最高	最低
										8° 15°	10° 15°	小計						
農地整備事業	面積 (ha)	-	-	42.5	-	-	42.5	3.4	-	-	-	3.4	-	-	3.4	576.9	519.1	
	比率 (%)	-	-	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	
合計	面積 (ha)	-	-	42.5	-	-	42.5	3.4	-	-	-	3.4	-	-	3.4	-	-	
	比率 (%)	-	-	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	

(第4表-1-2)

項目 土壌統 (区)名	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)			備考
	土 壌 断 面								堆 積 様 式	母 体	農 地 整 備 事 業			
	色	ひ 腐 植	レ キ 層	酸 化 沈 殿 物	土 性			泥 炭 層 黒泥層及び グライ層			水 田	畑	計	
					表 層 土 一 層	下 層 土 二 層	三 層							
黒色土壌・粘土腐食土	黒色	含む	有り	無し	粘質	砂礫	-	-	非固結崩積	水成岩	42.5	3.4	45.9	

※該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ侵食の程度		備 考
		0%	0%~25%	25%~50%	50%以上	0mm	3mm 未満	3mm~5mm	5mm 以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

2. 土地分類 ※該当なし

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農 用 地 造 成											計 (ha)	備 考
	一級地 (ha)	二 級 地				三 級 地			四 級 地				
	※ (ha)	3° ~ 8° (ha)	8° ~ 12° (ha)	12° ~ 15° (ha)	※ (ha)	15° ~ 20° (ha)	20° ~ 25° (ha)	25° ~ 30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)			
													※ は傾斜以外の要因によるもの。
計													

※該当なし

(第4表-2-2)

級地別 市町村名	干 拓					備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

3. 土地利用の状況

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村別	耕 地								山 林		採 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田		普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	桑 園 (ha)	茶 園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
		1耗作田 (ha)	2耗作田 (ha)													
農地整備事業	御殿場市	37.0	—	2.8	—	—	—	—	—	—	1.9	—	1.7	4.5	47.9	
	小山町	5.5	—	0.6	—	—	—	—	—	—	0.4	—	0.3	0.9	7.7	
	計	42.5	—	3.4	—	—	—	—	—	—	2.3	—	2.0	5.4	55.6	

4. 土地所有の状況

上段:変更前、下段():変更後 (第4表-4)

事業名	所有別	個人所有	国 有	県 有	市 町 有		計	備 考
	区 分							
農地整備事業	面 積 (ha)	50.5	0.4		4.7		55.6	
	関係戸数 (戸)	110 (107)					110 (107)	
	筆 数 (筆)	785	2		35		822	筆数は有地番のみ
	権 利 関 係	所有権・ 使用収益						
	備 考 (受益者数)	146 (143) 人						

第 3 節 水 利 状 況

1. 用水状況

現況河川(揚水機1系統)より堰上げ取水しているが、用排兼用水路となっている。

(1) 用水系統

別紙参照

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項 目 施設名	か ん が い 面 積						計		水 利 権		慣 行 水 利 権		延 取 水 量	備 考
		ha以上		ha ~ ha		100 ha以下		個 所	ha	個 所	m3/s	個 所	m3/s	m3/s	
		個 所	ha	個 所	ha	個 所	ha								
農地整備事業	井 堰														
	自然取入口	—	—	—	—	9	104.9	9	104.9	—	—	9	0.472	0.472	同一系統の地区外分を含む
	貯 水 池														
	揚 水 機	—	—	—	—	1	7.5	1	7.5	1	0.049	—	—	0.049	
	そ の 他	—	—	—	—	1	6.0	1	6.0	1	0.037	—	—	0.037	
	計	—	—	—	—	11	118.4	11	118.4	2	0.086	9	0.472	0.558	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	個所数 (個所)	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設又は更新年月日	改 修 を 必 要 と す る 理 由	備 考
	施設名							
農地整備事業	井 堰							
	自然取入口	9	48.0	U字フリューム	U300~600		末端受益までの用水安定供給と用排分離	
	貯 水 池							
	揚 水 機							※開田1箇所
	そ の 他							
	計	9	48.0					

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

※該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 ha	現 況 必要水量 m3/S	不 足 水 量				平 均 維持管理費 千円	備 考	
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量				平均減産量
				平 均	基 準 年	平 均	基 準 年			
				m3/S	年	m3/S	年			
	計									

(イ) その他の被害

※該当なし

.....

.....

.....

.....

.....

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

※該当なし

(第5表-3-2)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						人名 (人)	備考
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業施設	公共施設	家屋その他	計		
計												

2. 排水状況

12系統となっており、11河川に排水している。

(1) 排水系統

別紙参照

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名	排水面積						計	排水慣行	現況排水能力	備考	
		ha以上		ha～ha		100ha以下						
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	m3/s		m3/s
農地整備事業	自然 排水路 水門	—	—	—	—	12系統	215.8	12系統	215.8	—	11.40	同一系統の地区外分を含む
	機械 排水機 水門及び 排水機											
	計	—	—	—	—	12系統	215.8	12系統	215.8	—	11.40	

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		箇所数	構造	規模	新設又は更新 年 月 日	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
農地整備事業	自然	排水路	12系統	組立式柵渠	H600×B400～B900×H1,500	—	水路の老朽化に伴う漏水による湿田化と排水能力不足を解消するため	
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		計	12系統					
		自然	排水路					
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		計						
	合計		12系統					

(3) 排水に関する被害状況

※該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 施設名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	たん水状況				乾 湿 状 況						平均 減産量 (t)	平均 管理費 (千円)	備考
				たん水深 (cm)	たん水時間 (hr)	たん水面積 (ha)	たん水量 (千m3)	田		畑		その他				
								乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均 基準年													
			平均 基準年													
			平均 基準年													

3. 河川状況

(1) 河川の現況 ※該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面 下幅・上幅・高さ	安全洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況 ※該当なし

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (千円)	農用施設 (千円)	作物 (千円)	公共施設 (千円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路の状況

1. 道路概況

地区内では縦横に配置されている県道、1・2級市道を軸に一般交通や農作業道路として利用されている。

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員 (m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			
1	県道	静岡県	691	8.0	7.0	アスファルト舗装	現況利用	
2	1級市道	御殿場市	256	7.0	6.0	アスファルト舗装	現況利用	
3	2級市道	御殿場市	466	7.0	6.0	アスファルト舗装	現況利用	

第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

市町村名	項 目	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	電 気 給 水 道 業 熱 業 (人)	運 輸 通 信 業 (人)	飲 食 小 売 業 (人)	金 融 保 険 業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 員 (人)	そ の 他 (人)	備 考
御 殿 場 市		48,665	1,126	47	2	9	2,456	11,426	114	2,449	9,577	716	482	13,126	4,699	2,436	H22国勢調査
小 山 町		11,073	402	27	3	6	539	2,235	34	570	1,196	140	85	3,977	1,831	28	H22国勢調査
比 率 (%)		100	2.3	0.1	0.0	0.0	5.0	23.5	0.2	5.0	19.7	1.5	1.0	27.0	9.7	5.0	(御殿場市)
		100	3.6	0.2	0.0	0.1	4.9	20.2	0.3	5.1	10.8	1.3	0.8	35.9	16.5	0.3	(小山町)

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

区 分 市町村名	農 家 総 戸 数 (人)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)										1戸当り平均農用地面積 (a)					耕地の分散状況		専 兼 別 農 家 数 (戸)		備 考			
		例 外 規 定 の 摘 要 を 受 け る も の	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	15.0	自 給 的 農 家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	1 戸 当 り 団 地 数	団 地 当 り 面 積		専 業	兼 業	
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	以上												第1種	第2種
御 殿 場 市	2,259	2	364	540	247	77	57	33	8	3	-	928	78	23	18	119	-	119	-	-	93	61	1,177	2010農業センサス
小 山 町	773	3	118	216	81	34	16	6	1	2	-	296	85	16	10	111	-	111	-	-	24	44	409	
比 率 (%)		100	0.1	16.1	23.9	10.9	3.4	2.5	1.5	0.4	-	41.1	-	-	-	-	-	-	-	-	7.0	4.6	88.4	(御殿場市)
		100	0.4	15.3	27.9	10.5	4.4	2.1	0.8	0.1	-	38.3	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	9.2	85.7	(小山町)

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜						備 考		
	トラクター		防 除 機		田 植 え 機		コ ン バ イ ン		乳 用 牛		肉 用 牛		豚				
	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)									
御 殿 場 市	1,257	1,159	-	-	1,027	1,019	927	911	430	8	55	3	90	3			2010年農業センサス
小 山 町	463	435	-	-	399	394	384	381	-	-	-	-	-	-			
100戸当数量(台)	108.5		-		100.8		101.8		5,375		1,833		3,000				(御殿場市)
	106.4		-		101.3		100.8		-		-		-				(小山町)
利用戸数割合(%)	51.3%		-		45.1%		40.3%		0.4%		0.1%		0.1%				(御殿場市)
	56.3%		-		51.0%		49.3%		-		-		-				(小山町)

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名			御 殿 場 市		小 山 町		計		備 考		
総 耕 地 面 積			2,010 ha		606 ha		2,616 ha				
区 分			作付面積 (ha)	単位面積当り収量	作付面積	単位面積当り収量	作付面積	単位面積当り収量			
作物名											
田	表 作	水 稲	838	477	345	478			1,183	478	農林統計 H18~19
	裏 作										
	小 計		838		345				1,183		
畑	表 作	野 菜 類	154	4,210	59	4,500			213	4,355	単収は大根を参考とした
	裏 作	芋 類	16	1,660	7	1,700			23	1,680	馬鈴薯を参考とした
		そ の 他	692		155				847		
	小 計		862		221				1,083		
樹園地											
計			1,700		566				2,266		
市町村別延作付率 %			84.6	1,700ha/2,010ha	93.4	566ha/606ha			86.6		

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			そ の 他	地 域 指 定 等	備 考
	項 目	B	A	地 目	B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	機 具 名	B	A			
変化の状況 (C年を100とする指標)	総 農 家 数	94	92	耕 地	92	78	水 稲	81	74	乳 用 牛	80	75	乗 用 ト ラ ク タ ー	112	108	農 業 振 興 地 域 S46.3.31		
	専 業 農 家 数	78	76	田	95	84	ば れ い し ょ	75	43	肉 用 牛	132	100	動 力 田 植 機	115	166			
	第1種兼業農家数	0	0	畑	85	65	大 豆	164	145	豚	127	52						
	第2種兼業農家数	98	56	樹園地	84	21				養 鶏	99	98	コ ン バ イ ン	135	220			
	農 業 従 事 者	84	75															
変化の理由	高齢化及び後継者の農業離れによる。			農地転用による減少			耕地面積の減少、水稲の生産調整。営農形態の変化による。			生活環境の変化による。			労働力不足による機械の導入及び機械の大型化。					

農業センサス A:2005年・B:2000年・C:1995年

第 4 章 一 般 計 画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本計画は、農用地の区画整理により、集团的優良農地の確保、農道整備による営農労力の節減、農業用排水路整備による農業生産性の向上及び農業経営の安定を図る。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農 地 整 備 事 業												計 (ha)	備 考	
	田 (ha)	輪換 耕地 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 地 (ha)	樹 園 地 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)	田 (ha)	輪換 耕地 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 地 (ha)	樹 園 地 (ha)			小 計 (ha)
区 画 整 理		42.3	5.7	-	-	-	48.0							48.0	
計		42.3	5.7	-	-	-	48.0							48.0	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業の実施により、農地の流動化及び農作業の受委託を推進し、担い手農家の規模拡大を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	田	輪 換 耕 地	普 通 畑	牧 草 地	樹 園 地	茶 園	小 計	原 野	山 林	そ の 他	計	備 考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
備農地 事業整	現 況	42.5	-	3.4	-	-	-	45.9	2.0	2.3	5.4	55.6	
	計 画	-	42.3	5.7	-	-	-	48.0	-	-	7.6	55.6	

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 地目名	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当り収量 kg/10a			生産量 (t)			同左生産量の 増減の内訳		備考	
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減量	単位面積当 収量増加		
農地 整備 事業	水	表	水 稲	40.4	30.2	△ 10.2	100.0	75.0	509	534	25	205.6	161.3	△ 44.4	△ 51.9	7.6	
			牧 草	0.0	0.8	0.8	0.0	2.0	3,487	4,707	1,220	0.0	37.7	37.7	27.9	9.8	
			スイートコーン	0.0	3.7	3.7	0.0	9.0	848	1,102	254	0.0	40.8	40.8	31.4	9.4	
			さといも	0.0	2.8	2.8	0.0	7.0	1,423	2,063	640	0.0	57.8	57.8	39.8	17.9	
			枝 豆	0.0	2.7	2.7	0.0	7.0	704	866	162	0.0	23.4	23.4	19.0	4.4	
	田	裏	だいこん	0.0	2.8	2.8	0.0	7.0	4,702	5,407	705	0.0	151.4	151.4	131.7	19.7	
			ばれいしょ	0.0	3.6	3.6	0.0	9.0	2,308	2,654	346	0.0	95.5	95.5	83.1	12.5	
			水掛け菜	0.0	3.6	3.6	0.0	9.0	900	1,017	117	0.0	36.6	36.6	32.4	4.2	
	畑		牧 草	1.5	1.9	0.4	44.0	33.0	3,487	4,184	697	52.3	79.5	27.2	13.9	13.2	
			スイートコーン	0.5	0.6	0.1	15.0	11.0	848	975	127	4.2	5.9	1.6	0.8	0.8	
			さといも	1.0	2.0	1.0	29.0	35.0	1,423	1,850	427	14.2	37.0	22.8	14.2	8.5	
			枝 豆	0.4	1.2	0.8	12.0	21.0	704	760	56	2.8	9.1	6.3	5.6	0.7	
	計			43.8	55.9	8.6											

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 地目名	作物名	作付面積	単位面積当り労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
農地整備事業	輪換耕地	水稻	30.2	人力	77.1	13.6	△ 63.5	
				機械	21.8	4.3	△ 17.5	
	輪換耕地・畑	だいこん、ばれいしょ、さといも	11.2	人力	133.0	9.6	△ 123.4	
				機械	14.9	3.5	△ 11.4	
	輪換耕地	水掛菜	3.6	人力	87.5	38.2	△ 49.3	
				機械	11.0	4.0	△ 7.0	
	輪換耕地・畑	枝豆、スイートコーン	10.9	人力	103.3	79.1	△ 24.2	
				機械	5.3	4.9	△ 0.4	
	計		55.9					

6. 級地別土地利用区分

※該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成					干拓					備考
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	普通畑											
	牧草畑											
	樹園地 (果樹園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画

※該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)						備考
		田	輪換耕地	畑			計	
				普通畑	牧草畑	樹園地		
増反								
入植								

第3節 用水計画

1. 計画基準 昭和39年

2. 計画かんがい方式 開水路方式

3. 計画用水系統 河川より自然取水9箇所、自然湧水1箇所、揚水機場より1箇所

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別 農地整備事業	面積 (ha)	水田かんがい			畑地かんがい			田畑輪換			消費 水量 (m3/S)	損 失 量 (m3/S)	粗用水量		備考		
		事業名	普通期	代播期	面 積 (ha)	1日当り 計画平均 かん水深 (m3/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	水田かんがい		畑地かんがい			平均 (m3/S)	最大 (m3/S)			
		計画平均 単位用水 量 (mm/日)	計画代播 単位用水 量 (mm/日)	普通期	代播期	面 積 (ha)	1日当り 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	普通期	代播期							
全体		48.0	27.3	160	42.3	-	-	5.7						0.1758	0.0364	0.1508	0.2122	

(2) 営農飲雑用水

※該当なし

(第10表-1-2)

区 分	利用目的	対 象 面 積			日 当 り 給 水 量		補給回数	関係戸数	備 考
		事 業 名			単 位 給 水 量	最 大 給 水 量			
				計					

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2-1)

項 目 区 分	消費水量 a (千m3)	有効雨量 b (千m3)	純用水量 c=a-b (千m3)	粗用水量 d=α(1-a) (千m3)	現 況 利 用 可 能 水 量			不 足 量		水 源 保 存 量		水 源 工 種	備 考
					水源名	取水地点 利用可能量 e (千m3)	田 畑 面 利用可能量 f (千m3)	純不足量 g=c-f (千m3)	全不足 水 量 h=d-e (千m3)	水 源 名	水 量 (千m3)		
全体	0.1758	—	0.1758	0.2122	河川	0.2122	—	—	—	—	—		

(第10表-2-2)

区 分	全 工 区				備 考
	現 況 (m3/s)		計 画 (m3/s)		
	代 掻 期	普 通 期	代 掻 期	普 通 期	
純 用 水 量	0.1337	0.1252	0.1758	0.1239	
損 失 水 量	0.0567	0.0525	0.0364	0.0269	
全 用 水 量	0.1904	0.1777	0.2122	0.1508	
利 用 可 能 量	0.1904	0.1777	0.2122	0.1508	
不 足 量					

(2) 用水対策

(ア) 井堰及び自然取水口

(第10表-3)

項 目 取水施設	河 川 名	流 域 面 積	か ん が い 面 積 (ha)			取 水 量		喝 水 量 (m3/s)	備 考
			農 地 整 備 事 業			最 大 (m3/s)	平 均 (m3/s)		
			地区内	地区外	計				
河川取水堰	9箇所	—	34.4	69.5	103.9	0.4720	0.3930	—	

(イ) 貯水池 ※該当なし

(第10表-4)

項目 貯水池名	流域面積 (ha)		かんがい面積 (ha)			有効貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接	事業名							
					計					

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量		揚水機				備考
		事業名			最大 (m ³ /s)	平均 (m ³ /s)	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
		地区内	地区外	計							
正倉1号揚水機場		8.5	0.1	8.6	0.049	0.034	—	—	—	—	

(エ) 用水路

上段:変更前、下段():変更後 (第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構造	備考
	農地整備事業						
	地区内	地区外	計				
全体	48.4	70.9	119.3	0.0396	9,429 (10,743)	U字フルーム	

(オ) その他の水源 ※該当なし

(3) 水温水質 ※該当なし

第 4 節 排 水 計 画

1. 計画基準雨量 時間雨量 65.8mm/hr (1/10確率) ⇒ 幹線排水 4時間雨量 149.6mm/4hr (1/10確率) ⇒ 支線排水

2. 計画排水方式 自然排水方式

3. 計画排水系統 別紙参照

4. 排 水 量

(第11表-1)

排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (ha)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m3/s)		基底流量 (m3/ha)		全排水量 (m3/s)			単位排水量 (m3/s/ha)		備考
	農地整備事業			山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
	区画整理		計									自然排水	機械排水			
幹線		-				66.8	-	-	-	-			-	-	0.0914	
支線		-				149.6	-	-	-	-			-	0.0519	0.0468	
計	48.0	-	48.0	69.2	146.6	-	-	-	-	-			11.60	-		

5. 排水対策

(1) 排水水門 ※該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計 画		排 水 機			備 考
		事業名			排水量 (m3/S)	地区内 たん水 深 (m)	名 称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	

(2) 排水機 ※該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計 画		排 水 機			備 考
		事業名			排水量 (m3/S)	地区内 たん水 深 (m)	名 称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	

(3) 排水路

上段:変更前、下段():変更後 (第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計排水量 (m ³ /S)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		農地整備事業						名称	計画降水量 (m ³ /S)	計画洪水位 (m)	
		区画整理									
全体	215.8	48.0			11.60	6,046 (5,189)	組立式柵渠	抜川・馬伏川・六郎川・原畑川 他	-	-	

(4) その他

5. たん水検討 ※該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

上段:変更前、下段():変更後 (第12表-1)

項目 路線名	幅員 × 延長 (有効) (m)	構造	既設道路との関係	備考
支線道路	5.0 (4.0) × 4,991 (5,456)	砂利道	-	
耕作道路	3.0 (2.5) × 1,478 (1,615)	砂利道	-	

※該当なし

項目 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

1. 路線配置図

計画平面図参照

第 6 節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画 ※該当なし

(第13表-1)

項目 地目名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

2. 土壌改良 ※該当なし

(第13表-2)

区分 項目	面積	土壌	pH		置換酸度 (V ¹)	リン酸吸収 係数 (ma/100a)	ha 当り 所 要 量			備考
			H ² O	KCl			石灰 (t)	リン酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第 7 節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量 ※該当なし

2. 計画洪水量及び調節量 ※該当なし

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節の量 (m ³ /s)	ピーク時 調節係数 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3. 貯水池 ※該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積		計画洪水量 (m ³ /s)	貯 水 量			計画調節 流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考
	直接 (km ²)	間接 (km ²)		有効 (千m ³)	洪水調節容量 (千m ³)	多目的 (千m ³)			

4. 洪水調節検討

- (1) 河川改修計画との関係 ※該当なし
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響 ※該当なし
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 ※該当なし

5. 管理計画

- (1) 管理機構 ※該当なし
- (2) ダム管理操作上の各種基準 ※該当なし
- (3) 洪水調節要領 ※該当なし

第 8 節 干 拓 計 画 ※該当なし

(第15表)

項 目 名 称	延 長 (m)	計 画 高 潮 水 位 (T.P.m)	風 向 及 び 対 岸 距 離 (km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考

第 9 節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画形状

(第16表-1)

長 辺 × 短 辺	区 画 面 積 (ha)	全 体 面 積 (ha)	割 合 (%)	田 差 (cm)	備 考
100m × 30m	0.3	42.3	77	100.0	

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面 積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m3)	備 考
42.3	本地区の既存田の基盤は、特殊土壌のマサ土である(既存田造成時に基盤として設けられている)。このマサ土により水田の適度な保水力・水の浸透・地盤支持力が保たれており、本地域ではこの工法は伝来行われて来ている。このため、基盤にある30cmのマサ土層を表土扱いし大型ほ場の汎用化を図る。	45=15+30	190,350	

(3) 末端道水路配置図 ※該当なし

2. 暗渠排水 ※該当なし

(第16表-3)

区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (l/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方式	備考
	項目	事業	計						

3. 客土 ※該当なし

(第16表-4)

区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	減水深 (mm)		作土の厚さ (cm)		10a当り客土量	土壌の性質受益地	採土地(客土)材料	備考
	項目	事業	計		現況平均	計画平均	現況平均	計画平均				

4. 農地保全

(1) 防災林 ※該当なし

(第16表-5-1)

区分	項目	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排水工 ※該当なし

(第16表-5-2)

区分	項目	基準雨量	土性	流出率	排水量		備考
					単位排水量(m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工 ※該当なし

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

第 10 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量 ※該当なし

(2) 計画洪水量 ※該当なし

2. 堤体補強計画 ※該当なし

3. 取水施設改修計画 ※該当なし

第 5 章 主要工事計画

第 1 節 用水施設

1. 頭首工 ※該当なし

(第17表-1)

名称	位置			取水位 (m)	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	備考
	型式	堤体 (m)	堤長 (m)				
		固定部	可動部	計			

2. 貯水池 ※該当なし

(第17表-2)

名称	位置		位置				貯水量 (千m ³)		備考
	型式	流域面積 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	基盤・地盤 地質	総貯水量	有効貯水量	
堤体		直接	間接						
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)

3. 揚水機 ※該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /S)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			実揚程	全揚程	型式	口径(mm)	台数(台)	型式	動力	台数(台)	

4. 用水路

上段:変更前、下段():変更後 (第17表-4)

項目 水路名	支配面積			通水量 (m ³ /S)	延長 (m)			構造	備考
	農地整備事業				総延長	開渠	その他		
	地区内	地区外	計						
全体	48.0		48.0	0.2122	9,429 (10,743)	9,429 (10,743)		U字チューブ 300~600型	

5. その他のかんがい施設 ※該当なし

(第17表-5)

項目 施設名	構造	規模	数量	備考

第2節 排水施設

1. 排水水門 ※該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /S)	備考

2. 排水機

※該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /S)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	形式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力	台数 (台)	

3. 排水路

上段:変更前、下段():変更後 (第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m ³ /S)	延長 (m)			構造	備考
	農地整備事業				総延長	開水路	その他		
	地区内	地区外	計						
全体	55.6	160.2	215.8	11.60	6,046 (5,189)	6,046 (5,189)		組立式柵渠	

4. その他

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

上段:変更前、下段():変更後 (第19表-1)

項目 区分	路線名	幅員 (m) × 延長 (m)	構造	付帯構造物			最急 勾配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲 線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
支線道路	24路線	5.0(4.0) × ⁴⁹⁹¹ _(5,456)	砂利道	-	-	-	-	-	-	
耕作道路	15路線	3.0(2.5) × ¹⁴⁷⁸ _(1,615)	砂利道	-	-	-	-	-	-	

(2) 道路主要構造物

※該当なし

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所名 (箇所)	備考

2. 索 道 ※該当なし

(第19表-3)

名 称	項 目 延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力	

第 4 節 農 用 地 造 成

1. 農用地造成工

(1) 抜 根 ※該当なし

(第20表-1)

区 分	項 目 樹 種	樹 径 (cm)	ha 当り本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(2) 除 礫 ※該当なし

(第20表-2)

区 分	項 目 対 象 土 層 の 厚 さ (cm)	ha 当り平均除礫量 (m3/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(3) 開 墾 作 業 ※該当なし

(第20表-3)

区 分	項 目		面 積 (ha)	工 法	備 考
	地 目	造 成 工 法			
	計				

2. 土 壤 改 良 ※該当なし

(第20表-4)

区 分	項 目 面 積 (ha)	石 炭 量 (t)	りん 酸 質 資 材 量 (t)	有 機 質 資 材 量 (t)	備 考

第 5 節 洪水調節施設

1. 貯水池 ※該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工 ※該当なし

(第21表-1)

名称	位置		長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯設備	備考
	集水面積 (km ²)	堤高 (m)	固定部	可動部	計			

(2) 導水路 ※該当なし

(第21表-2)

水路名	通水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		総延長	トンネル	その他			

第 6 節 干拓施設

1. 堤防 ※該当なし

(第22表-1)

項目 名称	形式 (m)	延長 (m)	構造			造		原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土高 (m)	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

2. 潮止め ※該当なし

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 付 属 施 設 ※該当なし

4. 埋 立 ※該当なし

(第22表-3)

項目 名称	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m3)	施行方法	備考

第 7 節 農用地整備施設

1. 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 千m3	面 積 (ha)	土 量 千m3	
全 体	42.3	100m×30m	171,486		190,350	

2. 暗 渠 排 水 ※該当なし

(第23表-2)

項目 区分	面 積 (ha)			集 水 渠				吸 水 渠				集水渠出口以下の 排 水 施 設			備 考	
	事 業 名	計	勾 配	管 種	管 径 (mm)	延 長 (m/ha)	勾 配	管 種	管 径 (mm)	深 さ (m)	間 隔 (m)	延 長 (m/ha)	名 称	構 造		数 量 (m/ha)

3. 客 土 ※該当なし

(第23表-3)

項目 区 分	面 積 (ha)			客 入 土 量 (m3)	土 取 場 土 量 (m3)	運 搬 距 離 (km)	運 搬 方 法	備 考
	事 業 名	計	計					
計								

4. 農地保全

(1) 防災林 ※該当なし

(第23表-4)

幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
計					

(2) 排水路 ※該当なし

(第23表-5)

項目	延長 (m)	流量 (m3/s)	構造	備考
区分				
計				

(3) 侵食防止工 ※該当なし

(第23表-6)

項目	構造	数量	備考
名称			
計			

第 8 節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池 ※該当なし

(第 24 表)

名称	位置				備考		
	形式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m ³)	堤長幅 (m)	貯水量 (千m ³)
堤体							
洪水吐	形式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	形式	取水量 (m ³ /s)

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設 該当なし

(2) 漏水防止工 該当なし

第 6 章 付帯工事計画

該当なし

第 7 章 工事の着手及び完了予定時期

上段:変更前、下段():変更後

着手 : 平成 29 年度

完了予定 : 平成 35
(令和 9) 年度

第 8 章 環境との調和への配慮

1. 地域環境の概況

御殿場市は、静岡県の北東端に位置し、富士山と箱根山麓の弓状の裾合いに形成された平均標高500mの高原都市である。市中央部を南北に分ける県道御殿場・富士公園線（通称：富士山登山道）が分水界となっており、南斜面の河川は黄瀬川から狩野川に合流して駿河湾に注ぎ、北斜面の河川は鮎沢川から酒匂川へ合流して相模湾に注いでいる。

市街地を囲む富士山と箱根外輪山の緑豊かな自然は、最大の地域資源の一つであり、高原都市や田園都市としてのイメージを形成している。一方、小山町は、静岡県の北東端、駿東郡の北端に位置し、東を神奈川県に、北東を山梨県に接する県境の「富士をもつまち」である。東西に長い盆地状の地勢を示し、谷間に市街地や集落などが広がっている。また、谷間に沿って富士・箱根山系に発する鮎沢川や小山佐野川、須川、野沢川などの多くの河川が合わり東流し、隣接する神奈川県に入り酒匂川となって相模湾へと注いでいる。富士山を頂点とする富士外輪状の山国山系と、北東方を丹沢山系、東南方を箱根外輪山、足柄山系にとり囲まれており、緑豊かな自然は、最大の地域資源の一つとなっている。

御殿場市、小山町にある豊富な自然環境は、住民生活に潤いと安らぎを与え、また、多種多様な生き物が生息できる空間を提供してくれている。その一方で、森林や河川のほか田畑、草地、公園・緑地、水路、湧水池、ため池などで、多様な動植物の生態系が破壊されつつある。

2. 環境との調和への配慮

御殿場市、小山町は、それぞれ田園環境整備マスタープランを策定し、「環境保全の基本的考え方」について以下のように定めている。

【御殿場市】

自然環境を可能な限り保全するとともに、失われた自然の再生、また、新たな自然の創造に努める。

河川や水路等の保全に努めるとともに、多様な生物の生息できる水辺環境づくりを進める。

【小山町】

「豊かな自然と調和」を基本とした国土利用とし、富士山をはじめ豊かな緑、優良農地等の自然環境を保全しつつ、森林学習や農業体験等暮らしの中に自然を活用しながら、自然と暮らしが調和した土地利用を図る。また、自然環境を改変する場合においても、生物や景観に十分配慮することとする。

本地域は、環境配慮区域にあることから、地区内排水路では二面張、三面張水路で改修し、水路底の泥溜りにより動植物の生息可能な環境を生み出すと共に、工事施工時に水棲動物が確認されたら地区外へ移動する。また、工事施工時には濁水による下流域の動植物の生息環境に悪影響を及ぼさぬように配慮する。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方。

本事業の実施により、工事前の区画形状が大きく変更されるため、従前の土地の上に存する権利関係を工事後の土地の上に確定し、換地処分を行う必要がある。

換地計画を作成するにあたっては、農用地の集団化を図り、農業構造の改善することの目的から換地計画を定める必要がある

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)	備考
高根西部・一色地区 全工区	駿東郡小山町大字一色、下小林 御殿場市大字上小林、柴怒田、塚原、六日市場、仁杉	55.6	
計		55.6	

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準	備考
高根西部・一色地区 全工区	土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。また、決定の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は、土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、その申出のあった地積とする。	

第 4 節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

標準地比準方式

2. 清算の方法

増価額比例地積清算方式

第 5 節 換地計画樹立の年度計画

上段:変更前、下段():変更後 (第25表-6)

区 分	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備 考
換地区名 高根西部・一色地区 全工区	平成31年度～34(令和8)年度	平成35(令和9)年度	平成35(令和9)年度	

第 6 節 換地処分の時期に関する特!

本地区の全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項ただし書きに基づき換地処分を行うことができるものとする。

事業費 1,298,000
(1,753,300)千円

総事業費 1,362,000
(1,840,000)千円

内 訳

上段:変更前、下段():変更後

区 分 \ 項 目	数 量	事 業 費	備 考
1 工 事 費	ha	1,136,000 千円 (1,534,300)	
整 地 工	48.0 ha (48.0)	576,000 (875,000)	
用 水 路 工	9,429 m (10,743)	190,000 (311,000)	
排 水 路 工	6,046 m (5,189)	305,000 (253,000)	
道 路 工	6,469 m (7,071)	65,000 (95,300)	
2 測 量 試 験 費	1.0 式	58,000 (134,000)	地形測量、実施設計費
3 用 地 買 収 補 償 費	1.0 式	50,000 (17,000)	電柱移転費
4 換 地 費	1.0 式	54,000 (68,000)	換地費、確定測量費
5 工 事 雑 費	1.0 式		
事 業 費	1.0 式	1,298,000 (1,753,300)	
6 地 方 事 務 費	1.0 式	64,000 (86,700)	5.0%以内
総 事 業 費	1.0 式	1,362,000 千円 (1,840,000)	

第11章 効 用

上段:変更前、下段():変更後

区 分 \ 項 目	増 加 見 込 効 果 額 (千円)	増 加 見 込 所 得 額 (千円)	備 考
作物生産効果	20,862 (31,664)	71,278 (88,969)	
営農経費節減効果	53,292 (62,368)	53,292 (62,368)	
維持管理費節減効果	907 (Δ1,639)	58 (Δ290)	
国産農産物安定供給効果	12,661 (9,889)	- -	
計	87,722 (102,282)	124,628 (151,047)	
			総費用 1,185,761 (1,934,905) 千円
			総便益額 1,536,221 (2,111,869) 千円
			総費用総 便益比 1.29 (1.09)

第12章 関連する事業

※該当なし

第13章 現況・計画図面

1. 計画一般図 (1 / 25,000)

2. 計画平面図 (1 / 3,000)

3. 土地利用計画図 (1 / 25,000)